

仙台の今、未来への責任！

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和5年第1回定例会報告

<https://www.y-noda.net>
info@y-noda.net

■ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和5年第1回定例会報告です。今定例会では、6千億円を超える過去最大の一般会計当初予算案を中心に審議され、6,146億5,100万円の令和5年度の一般会計予算案74件、議員発議条例2件、4病院の再編構想に関して、県が市など関係者に十分な情報開示や説明を行い、慎重に検討するよう求めた決議案も決議いたしました。

今回のレポートは、私、野田が一般質問に登壇した際の質問と答弁、又、自由民主党の代表質疑の質疑と答弁の一部を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



▲令和5年第1回定例会一般質問

令和5年第1回定例会 野田ゆずる一般質問より

令和5年度市政方針について

野田 時代の荒波が容赦なく襲う中、東北唯一の109万都市仙台が、さらなる高みを目指す市長が果たす役割はこれまでも増して重いものがある。

私は、仙台が新たなステージへの第一歩を踏み出す「出発」の年となることを大いに期待しているが、市政運営にあたる市長の気概と、特に心がけていきたい点は何か。

答弁 世界がアフターコロナへと走り出す中で、選ばれる都市となるためには、既存の枠組みを打ち破る発想により、厳しい財政制約を踏まえながらも未来に向けた投資を進めることが重要だ。デジタル化やGXなどの流れに対応しながら、学都の知の力や、豊かな都市環境などの個性を生かす政策を展開することが必要で、内外から選ばれる街を目指し、私が先頭に立って新たな一歩を踏み出していく覚悟だ。

新年度予算と今後の財政運営について

野田 時代の風を読み、未来志向の積極予算を取りまとめた市長のリーダーシップを評価する。しかし例年にも増して厳しい財政運営だ。どのような工夫で予算を編成されたのか。

市長が示した、意欲的な政策を単発で

■全体予算規模

	令和5年度	令和4年度	増減額
一般会計	6,147億円	5,929億円	+218億円
特別会計	3,203億円	3,151億円	+52億円
企業会計	2,541億円	2,296億円	+245億円
合計	1兆1,891億円	1兆1,376億円	+515億円

はなく、継続するには多額の費用と財源を要する。将来負担を含め、財政面の懸念を持たざるを得ない。

当局は健全財政化に向けた道筋をどのように考えるのか。

答弁 最終的には基金借り入れや、株式売却益の計上といった特例的な収支差対策を講じた。

歳入面も、例年にも増して活用可能な国や県からの補助金の洗い出しや、未利用資産の売却益の計上などを行い新年度予算案を編成した。

野田 限られた財源の中で、様々な挑戦を進めるためには、表裏一体で聖域のない見直しが不可欠だ。持続可能な財政基盤の構築に向けどのように取り組んでいけるのか。

答弁 仙台の持続的成長へと踏み出していくためには、未来に向けた重要プロジェクトへの投資も行い、自律的な財政運営を図っていくこと求められる。

期間を10年間に伸ばし、新たな財政見通しを示した事は財政状況が厳しい旨を明らかにする一方で、今後の市政運営、市政推進における財政運営をどのように進めるべきか示したところで、極めて意義のある取り組みだ。

今後は、特例的な収支差対策も早期に解消し、持続可能な財政基盤の確立を図っていく。

人口減少問題について

野田 人口減少のインパクトは見方によっては災害以上であり、人の数が減っていくことで財政規模が縮小し、行政サービスを提供する側、享受する側の双方に影響が出てくることも確実だ。

想定以上のペースで進む人口減少への危機感を、分野横断的に検討を重ね、総合的な政策を打ち出していくべきではないか。

答弁 人口減少局面に対し持続的に活力を維持していくためには、とりわけ地域活力の担い手となる、若い世代の定着を促していくことが不可欠だ。魅力ある雇用の場の創出や、高い付加価値を生む企業の集積を図り、子育て環境の充実に取り組んでいかなければならない。

合わせてナノテラスの活用など新たな活力の創出に取り組み、人や投資を呼び込むことが重要だ。産学官の連携を強めて地域の総合力を結集し対応していきたい。



機能集約型市街地づくりについて

野田 これまでの実績を踏まえた課題と今後の見通しは。

答弁 現在までに4件の計画を認定し、そのうち11月には第一号案件が完成を迎えるなど成果が現れはじめている。

一方で、仙台駅前の大規模開発事業は権利者の合意形成等に時間を要しており事業化には至っていない。

民間投資を呼び込む環境を整え、賑わいや交流、経済活力の向上に資する開発が連鎖的に展開していくよう力を尽くしていく。

野田 泉中央や長町といった都市計画上特別な位置づけのある地域においては、都心再構築プロジェクトのように規制・制限の緩和など立地誘導策をパッケージにし、大胆かつ積極的に進め、民間投資の誘導を図るべきではないか、如何か。

答弁 今後、地元によるまちづくり組織の構築など、これまで以上に市民や事業者と連携を強め、地域の特性やニーズを的確に捉え、都市計画の見直しも視野に入れ、民間活力も活かした都市機能のさらなる強化に向けて取り組んでいく。

野田 再質問 駅前の再開発については、以前より同僚議員も何度も、何度も取り上げてきた。仙台・東北の顔となる駅前の再開発について、本気度が問われている。もっと積極的に取り組んでいかなければならない、如何か。

答弁 出来るだけ早期に具体化が図られるよう、力を尽くしていく。



市政の信頼回復について

野田 職員一人ひとりが前例踏襲の思考停止に陥らないよう活発な議論を交わして、新しい発想や付加価値を生み出していく組織風土を再構築していくことが、政策全般に血を通わせ、今年一年をチャレンジにふさわしい年としていくベースになるのではないかと考えている。

職員に響かせるためには、市長は思いだけではなく直接語りかけなければならない。職員に向けどのようなメッセージを発信していくのか伺う。

答弁 社会情勢の大きな変化に柔軟に対応し、未来を切り開く施策を推進していくため、挑戦を重ねる組織への変革を進めることが必要と認識している。

私としても、今まで以上に職員と直接対話する機会を増やし、職員の意欲を引き出し、信頼回復に向けた意識改革と組織風土づくりに取り組んでいく。

令和5年第1回定例会 会派 自由民主党 代表質疑より

コロナ後の市政運営について

質問 市長は、アフターコロナに向け、本市が目指す方針をどのように描き、市政の舵取りをしていくつもりなのか。

答弁 変化する世界の潮流を的確に捉え、東北から日本の未来を創るという決意のもと、新たな挑戦を重ねていく姿勢が重要と考えている。

本市の強みや魅力を、最新のデジタル技術などを磨き上げ、域外から人や投資を呼び込み、世界から選ばれ続けるまち・仙台を創り上げていく覚悟だ。

当初予算案と財政見通しについて

質問 当初予算は本市初となる6,000億円を超える規模だ。新年度予算に対する市長の考えは。

答弁 令和5年度は、大きな飛躍への転換点となる年としなければならない。

「ひとが輝く、デジタル化の推進」をはじめ、3つの分野に予算を重点配分した。

質問 財源確保に向け、事業の厳選重点化、既存事業の見直し、歳入面でも民間活力の導入など、あらゆる方策を検討し、全庁的に進めていく必要がある。如何か。

答弁 今後10年で約3,732億円の収支不足が見込まれ、財政運営の課題がある。

加えて、音楽ホール・中心部震災メモリアル複合施設や市役所本庁舎といった、本市の要ともいえる基盤整備を着実に実施していく。効果的な整備手法や事業費の抑制、基金等を最大限活用し、財源の確保に取り組んでいく。

子ども・子育て支援について

質問 市長は「子育てが楽しい街・仙台」を実現すると宣言した。どんな街なのか。

答弁 子育てを応援する機運を社会全体で高め、子どもの成長をすべての人が喜び、楽しさを実感できるまちを考えている。

質問 こども財団について、何を指して何をするために、新たに財団を作るのか。



答弁 子ども・子育て支援団体等とのネットワークを中心に、民間連携・協力により地域社会全体で子育て応援の機運醸成を図る人脈やノウハウの蓄積が強みの財団が必要と考えた。

4病院の再編の問題について

質問 「年度内合意」とらわれず時間をかけて進めていくべきだ。今後の見解と対応は。

答弁 移転再編が仙台圏にとっての課題解決につながるものか、十分な時間をかけて丁寧に進めていくことが大切だ。県には、市民や医療関係者に理解を得られるよう、急ぎ結論を得ようとせず、慎重な検討を行うよう求めている。



防犯カメラ設置等補助事業について

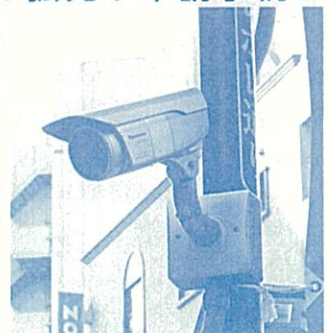
質問 防犯カメラは犯罪抑止効果が期待できる。防犯カメラを推進し犯罪が起こりにくい環境を作る事は安心・安全な地域を実現するために重要だ。子供や女性が犯罪被害となる事態を防ぐためにも、防犯カメラへの補助は大いに活用されるべきだ、如何か。

答弁 事件発生などにより問い合わせが増えるなど、関心を持つ地域は少なくない。

一方、設置場所の検討や資金用意も含めた合意形成が必要で、年間20台程度の申請だ。

質問 制度利用には高いハードルがある。本気で防犯活動を支援し犯罪が起こりにくい環境整備を進めるならば、活用しやすくするよう、補助の拡充や申請手続きの簡素化、サポートの強化など検討を行うべきだ、如何か。

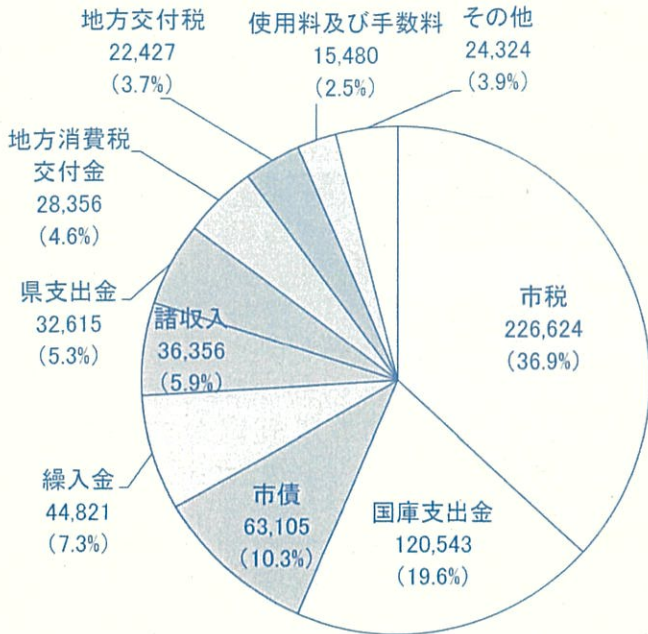
答弁 事前申請の廃止や大幅な簡素化を行い、皆様の負担をできるだけ軽減するよう努めていく。



令和5年度歳入・歳出予算額内訳

R5年度 歳入予算の内訳

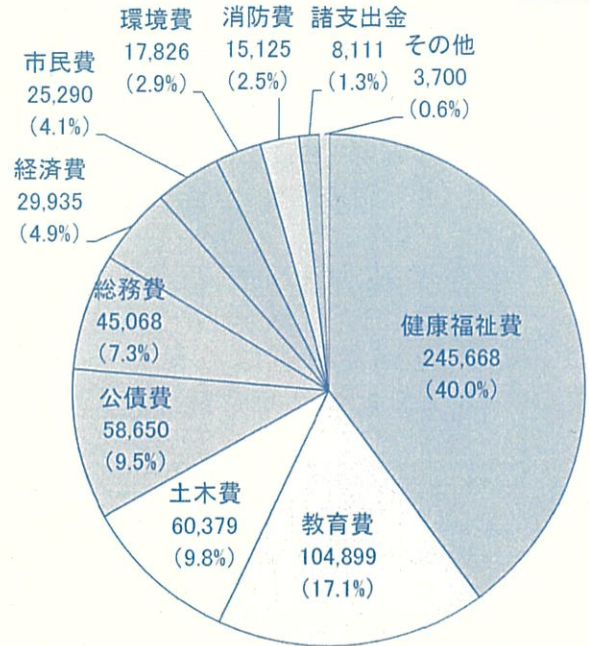
(単位:百万円)



- 市税収入は、土地に係る軽減措置終了等による固定資産税などの増加により、前年度に比べて74億円増加。
- 国庫支出金は、社会資本整備総合交付金などの増加により、前年度に比べて56億円増加。

R5年度 歳出予算(目的別)の内訳

(単位:百万円)



- 健康福祉費は、新型コロナウイルス感染症対策費などの増加により、前年度に比べて104億円の増加。
- 経済費は、中小企業融資預託金などの減少により、前年度に比べて22億円の減少。

令和5年度泉区主要事業

- 根白石児童館建設
- 七北田保育所建設
- 七北田中校庭整備
- 将監中校庭整備
- 泉社会福祉センター大規模改修
- 高森市民センター大規模修繕
- 松陵市民センター大規模修繕
- 黒松市民センター大規模修繕設計
- 長命ヶ丘市民センター大規模修繕設計
- 南光台東コミュニティ・センター大規模修繕
- 泉区西部活性化
- 泉中央地区活性化
- 公園整備 (将監ふれあい公園 等)

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる 行

料金受取人払郵便

泉承 局認

36

差し出し有効期間
2023年
4月30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
ご住所	□□□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
アンケート	あなたが重視する、仙台市政の課題は何でしょうか?(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 安心・安全の防災対策	<input type="checkbox"/> 価格高騰への支援
	<input type="checkbox"/> 子育て支援・教育の充実	<input type="checkbox"/> 行財政改革・議会の活性化
	<input type="checkbox"/> 福祉・介護の充実と弱者支援	<input type="checkbox"/> 国土強靱化・インフラ整備
	<input type="checkbox"/> 地元経済の活性化	<input type="checkbox"/> 4病院再編への対応
ご意見		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。